

日本の働く女性：過去、現在、将来 (Working Women in Japan: Past, Present, and Future)

シュウ・リー
Lee Hsu

82-372: Advanced Japanese II

1. 初めに

この作文では、どうして日本の女性の職場環境はよくないかという質問に答えたいと思う。筆者は、日本の文学とかアニメとかをよく見る。しかし、日本のフィクションでは、会社が女性を少し不当に扱っている。どうしてこの問題があるか知りたい。そして、この問題の原因は文化とか社会とかが分からないからだ。最後に、現代の若者は職場環境をどう考えているのか知りたい。最近、職場の男女平等についてどんな変化があるか知りたい。結論は女性の職場がよくない原因は昔の役割分担の考えだ。それから、今の若い女性は多少仕事をしたくないと思っている。でも、働きたい女性は、段々増えて、仕事の機会もいい方向に変わると思う。

2. どうして日本の女性の職場環境はよくないのか。

2. 1. 女性の職場では、何が悪いのか。

西洋の新聞は、日本の職場のセクハラについて、たいてい良くないことを報道する。だから、学があるアメリカ人は、日本のセクハラが大きな問題だと思っているわけだ。たしかに、日本の職場では、セクハラを受ける女性は3割ぐらいだ。しかも、女性の正社員のうち3割が、セクハラを経験した。4分の3は、上司がハラスメントをした

ケースだ。でも、セクハラばかりでなく、他の悪いこともある。例えば、「マタハラ」という言葉は、働く女性が妊娠と出産の後で受ける、職場のハラスメントだ。母親になる女性は仕事をしないはずだと思っている。日本と違って、アメリカでは、マタハラという言葉が全然聞かない。

次に、男女平等の問題について、日本の会社には、賃金格差も昇進差別もある。たくさんの国では、男性の方が女性より所得が高いが、先進国の中で、日本は、賃金格差が最低の国の一つだ。日本では、同じ仕事をしている、女性の給料は男性の75%ぐらいで、先進国の平均では、女性の給料は男性の85%ぐらいだ。そして、日本の会社で、男性は昇進しやすいから、女性管理者は8%いるだけだ。日本は終身雇用の国だけど、4割弱の働く女性は派遣社員だ。女性は昇進の機会をもらえないと感じているので、キャリアを出来なくて、仕事をしたくないと考えている。

2. 2. 女性のよくない場合の原因は何か。

働く女性のよくない場合の原因はちょっと複雑で、難しいと思うが、理由の一部はたぶん昔から、役割分担の考えに影響された。たしかに、アメリカ人も、昔から、役割分担がある。でも、アメリカの方が日本より、家族の事は大切ではないそう。日本では、家族を世話することは慣例的に妻の役目だ。日本は特別な家事がある。例えば、時間がかかるキャラ弁を子供のために作る。それから、女性はキャリアと家族を両方選べない。なぜなら、仕事をすれば、子供を育てる時間がない。それに、女性はたいてい四十歳を過ぎると出産しにくいから、子供が欲しければ、キャリアの峰で、選択をしなくてはいけない。

その結果、セクハラとマタハラの悪い行動が浮き出る。女性は仕事をしないはずだから、会社で、仕事上の差別がある。そして、セクハラをする人は、たぶん女性が家族のために、一生懸命いそしむ方がいい思っている。同じ原因から、育児しながら、家にとどまるべきだと思っている。それで、女性が妊娠したら、会社は女性に引退するよに圧力をかける。時々、女性が産休を取ったら、会社は戻らない方がいいと言う。次に、会社員はよく終身雇用だから、女性が早く引退するなら、なぜ、会社の資源を使って、女性に投資するのかと考えるから、女性管理職が少ないのかと思う。それから、終身雇用の文化は女性の昇進の機会を損なうと思う。最後に、妻は毎年収入が百万円以下だったら、政府は家族に税支払い免除を与えている。そのために、女性は普段正社員にならなくて、派遣社員になる。

2. 3. 今、高校生と大学生は仕事の男女平等について、どんな考えがあるか。

過去、男性と女性は大学に行く理由が違ったが、現代の男女の大学に行く理由は同じぐらいに変わる。男性はいい大学に行くのが必要性だと思っている。有名な大学を卒業したら、良い会社に雇用される。そして、収入をもらって、妻子を養える。それから、他の国と同じく、大学の工学部とかでは、やっぱり男性がたくさんいる。女性は、世界の知識を習いたい、新しい人に会ったり、付き合いを増やしたり、結婚相手を探したりしたい。仕事しなければ、結婚してもいい。主婦になるのも大丈夫だと思っている。そして、女性の大学は男性の大学より有名であったら、男性はちょっと困るそう。

今、男性も女性も大学を卒業したら、いい仕事を探したい。たしかに、キャリアウーマンは少ないが、この人たちは段々増えている。女性は、社会に役立つために、自

分の能力を使う。そして、専業主婦になりたくないかもしれない。他の女性は、家計がよくなければ、助けたいと考える。1999年から、共働きの家庭は男性だけが働く家庭を追い越して、差が段々開いてきた。

2. 4. 近年に女性の職場環境は変わったか。

女性の職場環境は新しくて、良い点が現れたが、昔の悪い点も少し残る。例えば、会社は、エントリーレベルの仕事に、男性も女性も雇用する。そのレベルの仕事は、男性と女性がよく一緒に昇進する。しかし、管理職の昇進は、少ないキャリアウーマンだけがもらう。そして、古くて、大きい会社は、よく男性に限る選択する。次に、昔から、性的な差別の仕事がたくさんある。たいてい、女性はサービスや受付係の仕事をする。そして、同じ仕事でも、女性は制服を着るが、男性はスーツを着る。でも、日本で、免許の仕事がある。例は、ヘアサロンや、ペットの養護や、店に関する仕事だ。女性はその仕事をする機会が高いそうだ。

それから、近年に、育児休暇について、色々な男女平等の事を改良させる。まず、育児を利用できる女性が段々増えていて、女性は就業を継続する。そして、日本で、男性は育児休業の取得を考えている。たしかに、育児休業を取った男性はとても少ないし、社会で、このトピックはよく話し合われている。それに、今の夫は時々育児をしたり、妻と家事を分担したり、ワークライフバランスを考えてしたりする。それで、女性は家事をしなくてもいい時に、働ける。もう一つの結果は、以前に出産退職していた女性は今パートができる。最後に、子供を育てたら、女性は暇な時間が多いから、よく新しい仕事を探す。

3. 終わりに

昔、働く女性はセクハラとマタハラを受けたり、収入が男性よりすくなかったり、管理職へ昇進できなかつたりした。なぜなら、昔の役割分担の考えで、女性は家事や育児をするべきだと思っていた。残念だと思っているけれど、その基本は今も残っている。よく女性は大学を卒業したが、キャリアウーマンにはめったになりたがらない。しかし、若い女性は仕事の機会が徐々に増えて、会社は大卒の女性を雇用し始めている。そして、他の女性は資格を得たら、専門店で働く。

日本人は人間関係をととても大切にすることから、社会の変化はたいていゆっくりしていると思う。それから、今、日本の出生率が低いから、政府は女性の仕事と育児のバランスについて、困っている。その結果、アメリカと違って、キャリアウーマンは普通ではなくて、女性管理職を雇用しにくい。でも、育児休業取得率の変化は改善の指標だと思う。女性は育児休業を取ったら、仕事も育児も、両方できる。そして、男性で育児休業を取れるが増えれば、男女平等が進んで、女性の昇進の機会も増える。そうすれば、専門職の男女不平等も改善できて、伝統的な会社もゆっくり変わる希望がある。

参考文献

マタハラとは? <http://www.mataharanet.org/matahara/>

シュウ・リー (2015) 「日本の仕事の仕方」

内閣府「女性の年齢階級別労働力率 (国際比較)」 『男女共同参面白書』 2011 年

内閣府「共働き等世帯数の推移」 『男女共同参面白書』 2011 年

内閣府「子どもの出生年別第1子出産前後の妻の就業継続」 『男女共同参面白書』 2011 年

職場でつらい思いしていませんか? <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000135906.pdf>

Chen, E. 2014. *When Womenomics Meets Reality* <<https://thedi diplomat.com/2015/10/when-womenomics-meets-reality/>>

OECD 2014. *Gender differences in employment outcomes*
https://www.oecd.org/els/soc/LMF_1_6_Gender_differences_in_employment_outcomes.pdf

McCurry, J. 2015. *Nearly a third of Japan's women 'sexually harassed at work'*
<https://www.theguardian.com/world/2016/mar/02/japan-women-sexually-harassed-at-work-report-finds>

The Japan Times 2017. *A turning point in the war on sexual harassment?*
<https://www.japantimes.co.jp/opinion/2017/10/30/editorials/turning-point-war-sexual-harassment/>

Lewis L. 2015. *Japan: Women in the workforce* <https://www.ft.com/content/60729d68-20bb-11e5-aa5a-398b2169cf79>

The Japan Times 2016. *Still a struggle for working women*
<https://www.japantimes.co.jp/opinion/2016/04/08/editorials/still-a-struggle-for-working-women/>